索引

SONY

操作ガイド

NW-E002 / E003 / E005

 2-695-795-**02** (1)

目次
メニュー
索引

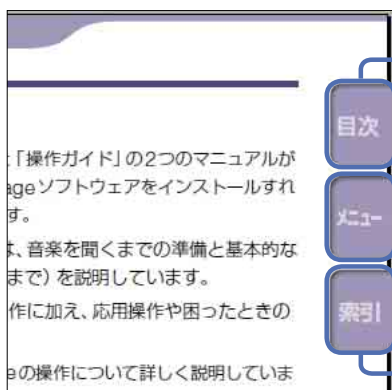
マニュアルについて

本機には、「クイックスタートガイド」と「操作ガイド」の2つのマニュアルが付属しています。また、付属のSonicStageソフトウェアをインストールすれば、SonicStageのヘルプを参照できます。

– 別紙の「クイックスタートガイド」は、音楽を聞くまでの準備と基本的な操作（曲の取り込みから、転送、再生まで）を説明しています。
– この「操作ガイド」は、本機の基本操作に加え、応用操作や困ったときの対処法を説明しています。
– SonicStageのヘルプは、SonicStageの操作について詳しく説明しています（☞3ページ）。

操作ガイドの見かた

操作ガイドのボタンを使うには

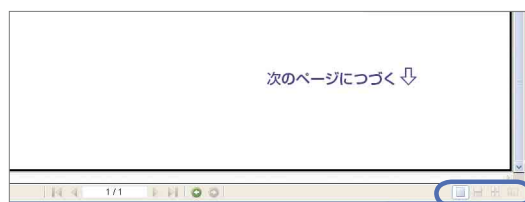
右上にあるボタンから、希望のボタンをクリックすれば、「目次」や「ホームメニュー一覧」、「索引」へ移動できます。

ヒント

- 「目次」や「ホームメニュー一覧」、「索引」で、各項目またはページ番号をクリックすれば、該当ページへ移動できます。
- 各ページにある参照ページ表示をクリックすれば、該当ページへ移動できます。
  例：（☞3ページ）
- Adobe Readerの「編集」から「検索」を選択し、表示された検索画面にキーワードを入力すれば、キーワードから参照ページを検索できます。
- ページ移動後は、Adobe Readerの画面下にある、 や ボタンをクリックすれば、移動する前のページや次のページへ移動できます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

ページの表示方法を変えるには

Adobe Readerの画面下にあるボタンを使えば、見やすい表示に変えられます。

単一ページ
1ページずつ表示します。
ページをスクロールすると、1ページずつ表示が切り換わります。

連続ページ
ページを続けて表示します。
ページをスクロールすると、前後のページが続いて表示されます。

連続見開きページ
2ページずつ見開き表示します。
ページをスクロールすると、前後のページが続いて表示されます。

単一見開きページ
2ページずつ見開き表示します。
ページをスクロールすると、2ページずつ表示が切り換わります。

SonicStageのヘルプについて

音楽をパソコンへ取り込む方法や本機へ転送する方法など、SonicStageを使う操作について詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。

1. **SonicStageを起動した状態で、「ヘルプ」から「SonicStageヘルプ」をクリックする。**
   ヘルプが表示されます。

ご注意

- ヘルプでは、本機を「ATRAC Audio Device」として説明しています。

目次

目次
メニュー
索引

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意　この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

禁止

はじめからボリュームを上げすぎない。

突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。
ボリュームは徐々に上げましょう。特にヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

本体を布団などでおおった状態で使わない。

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

付属品を確かめる

箱から出したら、付属品がそろっているか確認してください。

□ ヘッドホン*（1）
□ CD-ROM**（1）
　– SonicStageソフトウェア
　– 操作ガイド（PDF）
□ クイックスタートガイド（1）
□ 保証書（1）
□ ソニーご相談窓口のご案内（1）
□ カスタマー登録のお願い（1）

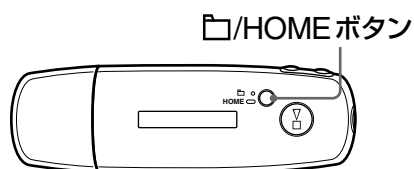
* ソニースタイルオリジナルモデルには、付属しません。
** 音楽CDプレーヤーでは再生しないでください。

シリアルナンバーについて

カスタマー登録の際に、本機のシリアルナンバーの入力が必要となります。シリアルナンバーは、本体裏面のラベルに印刷されています。
ラベルをはがさないようにしてください。
または、本機でシリアルナンバーを確認することもできます。詳しくは35ページをご覧ください。

ホームメニュー一覧

本機の /HOMEボタンは、以下の機能を実行できます。

本体表面

/HOMEボタン

短く押したとき

曲の再生／停止画面で、曲操作モード／フォルダー操作モードを切り換えます。

長く押し続けたとき

ホーム画面が表示され、以下の機能を実行できます。

目次
メニュー
索引

目次
メニュー
索引

基本的な操作 - 各部の名前

本体表面

A ⏮/⏭ボタン

曲またはアルバム、アーティスト、メニュー項目を選びます。
また、以下の操作で曲／アルバム／アーティストの頭出しや早送り／早戻しを行えます。

- **⏮（⏭）を短く押す**
  再生中の曲／アルバム／アーティスト（次の曲／アルバム／アーティスト）を頭出しします。
- **再生中に⏮（⏭）を押し、止めたい場所で手をはなす**
  再生中の曲を早戻し（早送り）します。
- **停止中に、⏮（⏭）を押したままの状態にする**
  停止中の曲／アルバム／アーティスト（次の曲／アルバム／アーティスト）、さらに前の曲／アルバム／アーティスト（次の曲／アルバム／アーティスト）を連続して頭出しします。

B 🗀（フォルダー）/HOME（ホーム）ボタン

曲の再生／停止画面で、曲操作モード／フォルダー操作モードを切り換えます。曲操作モードでは、曲を曲単位で頭出しすることができます。また、フォルダー操作モードでは、曲をアルバム／アーティスト単位で頭出しすることができます。
押し続けると、ホーム画面が表示されます。

C 表示部

表示部の表示窓、アイコンの名前は、☞10ページをご覧ください。

D ►■（再生／停止）ボタン

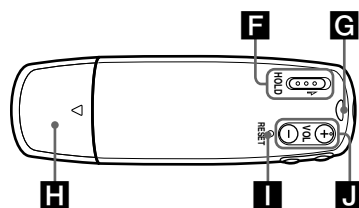
表示窓の左下に►が表示され、再生が始まります。もう1度押すと■が表示され、再生が停止します。
表示窓にメニュー項目が表示されているときは、その項目を決定します。
お買い上げ直後や、パソコンから本機を抜いた直後にこのボタンを押すと、本機内のはじめの曲から再生が始まります。

E ヘッドホンジャック

ヘッドホンを接続します。
「カチッ」と音がするまで差し込みます。
ヘッドホンが正しく接続されていないと、再生音が正常に聞こえません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

本体裏面

F HOLDスイッチ

カバンに入れて使うときなどに、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぎます。
HOLDスイッチをHOLDの位置にスライドすると、操作ボタンが働かなくなります。ホールド中に他のボタンを押すと、現在時刻と「HOLD」、▬（電池残量）が表示されます。HOLDスイッチを逆の位置にスライドすると、ホールドが解除されます。

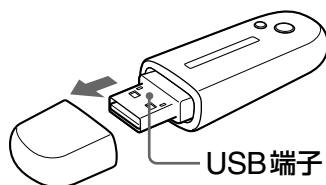
G ストラップ取り付け口

ストラップを取り付けます。

H USBキャップ

キャップを取りはずし、USB端子をパソコンと接続します。

キャップを取りはずすには

キャップは下図のように取りはずします。

I リセットボタン

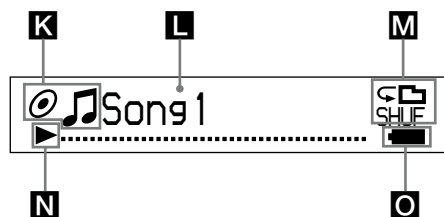
本機をリセットします。詳しくは、☞52ページをご覧ください。

J VOL＋/－ボタン

音量を調節します。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示部

K 曲の並び順(Sort)/♫ アイコン表示

現在の曲の並び順(👤: アーティスト名順、◎: アルバム名順、👤◎: アーティストごとのアルバム名順)と ♫ アイコンが表示されます。曲操作モードでは、曲の並び順アイコンの右側に ♫ アイコンが表示されます。フォルダー操作モードでは、♫ アイコンの右側に曲の並び順アイコンが表示されます。

L 文字情報/グラフィック表示窓

アルバム名、アーティスト名、曲名などの表示や、時計表示、エラー表示、メニュー画面などが表示されます。画面の表示内容は、設定メニューの画面設定(☞21ページ)で変更できます。また、一定時間操作がないときに、省電力画面に切り換わるように設定することもできます。

M 再生方法(プレイモード)表示

現在の再生方法(プレイモード)のアイコンが表示されます(☞17ページ)。プレイモードが「Normal」に設定されている場合は、何も表示されません。

N 再生状態表示

現在の再生状態(►:再生中、■:停止中、◄◄(►►):早戻し(早送り)、I◄◄(►►I):現在の曲(次の曲)の頭出し)が表示されます。

O 電池残量表示

目次
メニュー
索引

曲を再生する（ALL SONGS）

本機内の曲を再生します。

1 ホーム画面が表示されるまで 🗀/HOMEボタンを押し続ける。

2 ⏮/⏭ボタンを押して ♫（ALL SONGS）を選び、►■ボタンを押して決定する。

前回再生した曲から再生が始まります。前回再生した曲がない場合は、本機内のすべての曲の、はじめの曲から再生が始まります。
曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと再生が停止します。

曲の頭出しをしたいときは

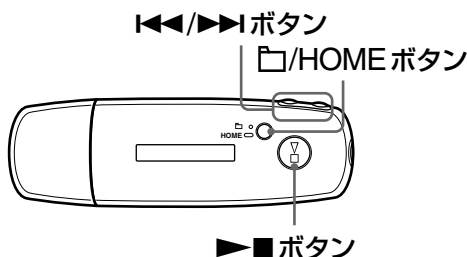
曲の再生中／停止中に⏮（⏭）ボタンを押すと、再生中の曲（次の曲）を頭出しします。
曲の再生中／停止中に 🗀/HOMEボタンを押し、⏮（⏭）ボタンを押すと再生中のアルバム／アーティスト（次のアルバム／アーティスト）の最初の曲を頭出しします。

ヒント

- Play Modeメニュー（☞16ページ）で再生方法を変更すると、曲を順不同に再生したり、繰り返し再生したりできます。
- 曲の並び順は、Sortメニュー（☞19ページ）で設定されている順番になります。お買い上げ時の設定では、「アルバム名順」に曲が並びます。

目次
メニュー
索引

プレイリストを再生する（PLAYLIST）

SonicStageで作成したプレイリストを再生します。SonicStageでプレイリストの名前を変更すると、変更した名前で本機に表示されます。詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。

ご注意

- ▶（PLAYLIST）を選んだときは、ホームメニューに🔍（SEARCH）は、表示されません。

1 **ホーム画面が表示されるまで🗀/HOMEボタンを押し続ける。**

2 **⏮/⏭ボタンを押して▶（PLAYLIST）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

前回再生した曲から再生が始まります。前回再生した曲がない場合は、最初のプレイリストの、はじめの曲から再生が始まります。
曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと再生が停止します。

曲の頭出しをしたいときは

曲の再生中／停止中に⏮（⏭）ボタンを押すと、再生中の曲（次の曲）を頭出しします。

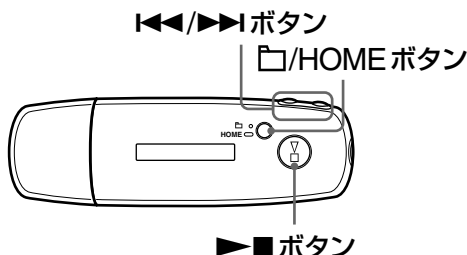
曲の再生中／停止中に🗀/HOMEボタンを押し、⏮（⏭）ボタンを押すと再生中のプレイリスト（次のプレイリスト）の最初の曲を頭出しします。

ヒント

- Play Modeメニュー（☞16ページ）で再生方法を変更すると、曲を順不同に再生したり、繰り返し再生したりできます。

目次
メニュー
索引

聞きたい曲を探す（SEARCH）

「曲名」、「アーティスト名」または「アルバム名」から聞きたい曲を探せます。

曲名から探す（Song）

1. **ホーム画面が表示されるまで 🗀/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **⏮/⏭ボタンを押して 🔍（SEARCH）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

3. **⏮/⏭ボタンを押して「Song>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
すべての曲が曲名順に表示されます。

4. **⏮/⏭ボタンを押して、再生を開始したい曲を選び、►■ボタンを押して決定する。**
選んだ曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が停止します。

ヒント

- SEARCHを実行しても、Play Modeメニュー（☞16ページ）で設定されている再生方法は変更されません。

次のページにつづく ⇩

アーティストから探す（Artist）

1. **ホーム画面が表示されるまで /HOMEボタンを押し続ける。**

2. **I◀◀/▶▶Iボタンを押して （SEARCH）を選び、▶■ボタンを押して決定する。**

3. **I◀◀/▶▶Iボタンを押して「Artist>」を選び、▶■ボタンを押して決定する。**
   アーティスト一覧が表示されます。

4. **I◀◀/▶▶Iボタンを押して聞きたいアーティストを選び、▶■ボタンを押して決定する。**
   選んだアーティストのアルバム一覧が表示されます。

5. **I◀◀/▶▶Iボタンを押して聞きたいアルバムを選び、▶■ボタンを押して決定する。**
   選んだアーティストのアルバムの曲一覧が表示されます。

6. **I◀◀/▶▶Iボタンを押して、再生を開始したい曲を選び、▶■ボタンを押して決定する。**
   選んだ曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が停止します。

ヒント

- SEARCHを実行しても、Play Modeメニュー（☞16ページ）で設定されている再生方法は変更されません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

アルバムから探す（Album）

1 ホーム画面が表示されるまで 🗀/HOMEボタンを押し続ける。

2 ⏮/⏭ボタンを押して 🔍（SEARCH）を選び、▶■ボタンを押して決定する。

3 ⏮/⏭ボタンを押して「Album>」を選び、▶■ボタンを押して決定する。

アルバム一覧が表示されます。

4 ⏮/⏭ボタンを押して聞きたいアルバムを選び、▶■ボタンを押して決定する。

選んだアルバムの曲一覧が表示されます。

5 ⏮/⏭ボタンを押して、再生を開始したい曲を選び、▶■ボタンを押して決定する。

選んだ曲から再生が始まります。曲の並び順に従って最後の曲まで再生されたあと、再生が停止します。

ヒント

- SEARCHを実行しても、Play Modeメニュー（☞16ページ）で設定されている再生方法は変更されません。

再生方法を変える（Play Mode）

曲を順不同に聞いたり、選んだ再生方法で繰り返し再生できます。

1. ホーム画面が表示されるまで 🗀/HOMEボタンを押し続ける。
2. ⏮/⏭ボタンを押して 🧰（MENU）を選び、►■ボタンを押して決定する。
3. ⏮/⏭ボタンを押して「Play Mode>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
4. ⏮/⏭ボタンを押してプレイモード（☞17ページ）を選び、►■ボタンを押して決定する。

1階層上のメニューに戻るには

🗀/Homeボタンを押します。

次のページにつづく ⇩

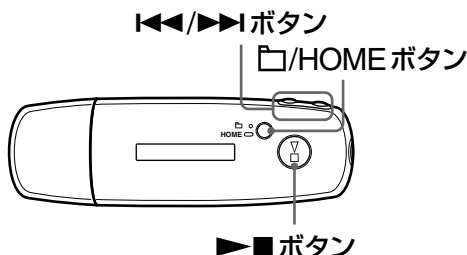
目次
メニュー
索引

プレイモード一覧

モードの種類 / アイコン	説明
Normal/表示なし	再生中の曲以降のすべての曲を1回再生し、停止します。（お買い上げ時の設定）
Folder（フォルダー）/	再生中の曲が含まれるアルバム（またはアーティスト）* のすべての曲を1回再生し、停止します。
Repeat All（全曲リピート）/	再生中の曲を再生したあと、すべての曲を繰り返し再生します。
Repeat Folder（フォルダーリピート）/	再生中の曲が含まれるアルバム（またはアーティスト）* のすべての曲を繰り返し再生します。
Repeat 1 Song（1曲リピート）/1	再生中の曲を繰り返し再生します。
Repeat Shuffle All（全曲シャッフルリピート）/ SHUF	再生中の曲を再生したあと、すべての曲を順不同に繰り返し再生します。
Repeat Shuffle Folder（フォルダーシャッフルリピート）/ SHUF	再生中の曲を再生したあと、その曲が含まれるアルバム（またはアーティスト）* のすべての曲を、順不同に繰り返し再生します。

* Sortメニュー（☞19ページ）で「Album」または「Artist/Album」が設定されている場合は、アルバムが再生範囲になります。Sortメニューで「Artist」が設定されている場合は、アーティストが再生範囲になります。

時間を設定して再生する（Sports Timer）

本機内の曲を、設定した時間内で再生します。設定できる時間は、1分〜99分間です。お買い上げ時は、「10分」に設定されています。

1 ホーム画面が表示されるまで /HOMEボタンを押し続ける。

2 ⏮/⏭ボタンを押して （MENU）を選び、►■ボタンを押して決定する。

3 ⏮/⏭ボタンを押して「Sports Timer>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

再生時間設定画面が表示されます。

4 ⏮/⏭ボタンを押して再生時間を選び、►■ボタンを押して決定する。

選んだ再生時間が表示され、再生が始まります。曲の再生方法は、プレイモード（☞16ページ）の設定が反映されます。
再生中は、画面に再生残り時間が表示されます。

1階層上のメニューに戻るには

/HOMEボタンを押します。

通常の再生に戻すには

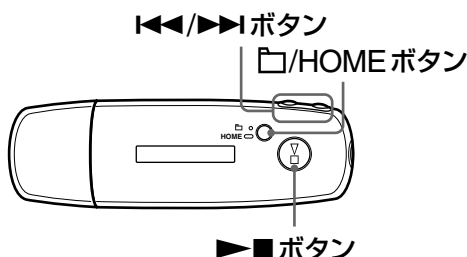
Sports Timerで曲を再生中／停止中に、手順❶から❸を行い、「Off」を選びます。

再生残り時間をリセットしたいときは

Sports Timerで曲を再生中／停止中に、手順❶から❸を行い、「Restart」を選びます。

目次
メニュー
索引

曲の並び順を変更する（Sort）

曲の並び順を「アーティスト名順」、「アルバム名順」または「アーティストごとのアルバム名順」から設定できます。

❶ **ホーム画面が表示されるまで 🗀/HOMEボタンを押し続ける。**

❷ **⏮/⏭ボタンを押して（MENU）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❸ **⏮/⏭ボタンを押して「Sort>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

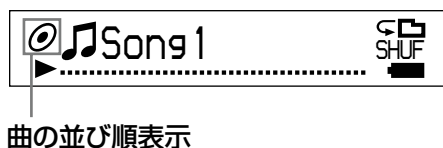
❹ **⏮/⏭ボタンを押して曲の並び順（☞20ページ）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

曲の並び順表示

1階層上のメニューに戻るには

🗀/HOMEボタンを押します。

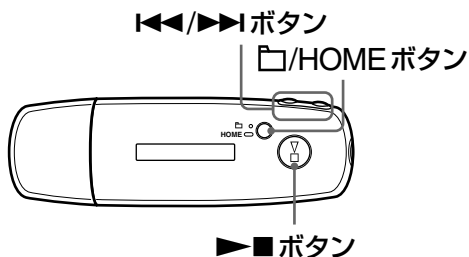
次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

曲の並び順一覧

設定項目 / アイコン	説明
Album（アルバム名順）/	曲がアルバム名順に並びます。同じアルバム内の曲は、曲番号順に並びます。 フォルダー操作モードでは、アルバム単位での頭出しになります。（お買い上げ時の設定）
Artist/Album（アーティストごとのアルバム名順）/	曲がアーティストごとのアルバム名順に並びます。同じアルバム内の曲は、曲番号順に並びます。 フォルダー操作モードでは、アルバム単位での頭出しになります。
Artist（アーティスト名順）/	曲がアーティスト名順に並びます。同じアーティストの曲は、曲名順に並びます。 フォルダー操作モードでは、アーティスト単位での頭出しになります。

目次
メニュー
索引

表示画面を切り換える（Display Mode）

曲の再生中または停止中に表示される画面を、お好みに応じて設定できます。

1 ホーム画面が表示されるまで 🗀/HOMEボタンを押し続ける。

2 ⏮/⏭ボタンを押して 🧰（MENU）を選び、►■ボタンを押して決定する。

3 ⏮/⏭ボタンを押して「Display Mode>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

4 ⏮/⏭ボタンを押して表示画面（☞22ページ）を選び、►■ボタンを押して決定する。

1階層上のメニューに戻るには

🗀/HOMEボタンを押します。

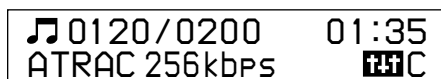
次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示画面一覧

- Basic：基本表示（お買い上げ時の設定）
- Property：曲属性表示

  現在の曲番号（またはアルバム番号／アーティスト番号）／再生範囲の総曲数（または総アルバム数／総アーティスト数）、再生経過時間、コーデック（曲の圧縮方式）、ビットレート、現在の音質設定（Equalizer）が表示されます。

  ♫0120/0200　01:35
  ATRAC 256kbps　C

- Clock：時刻表示

  曜日と月日、現在時刻が表示されます。日時の設定方法については、「現在時刻を設定する（Set Date-Time）」（☞31ページ）をご覧ください。

- Wind-bell：アニメーションが表示されます。

ヒント

- 画面を常に表示させたい場合は、省電力設定（☞43ページ）を「Off」に設定してください。

ご注意

- 音質設定（Equalizer）（☞26ページ）を「Off」に設定している場合、「Property」画面に音質設定は表示されません。

目次
メニュー
索引

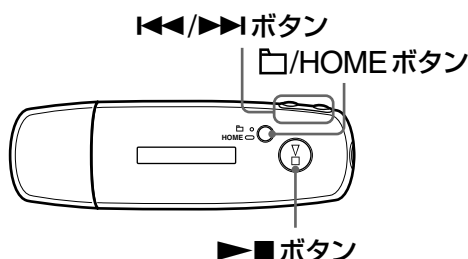
音量調節の方法を設定する（Volume Mode）

音量調節には2つのモードがあります。

Manual（マニュアルボリューム）：

VOL（ボリューム）＋/－ボタンを押すごとに、0から30の間で音量を調節できます。

Preset（プリセットボリューム）：

VOL（ボリューム）＋/－ボタンを押すごとに、あらかじめ設定しておいたLow、Mid、Hiの3段階から音量を選択できます。

プリセットボリュームを設定する（Preset）

1. ホーム画面が表示されるまで □/HOMEボタンを押し続ける。
2. ⏮/⏭ボタンを押して 🧰（MENU）を選び、►■ボタンを押して決定する。
3. ⏮/⏭ボタンを押して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
4. ⏮/⏭ボタンを押して「Sound>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
5. ⏮/⏭ボタンを押して「Volume Mode>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

❻ ⏮/⏭ボタンを押して「Preset」を選び、►■ボタンを押して決定する。

「Low」の音量の上下に線が付いて表示されます。

❼ ⏮/⏭ボタンを押してLow、Mid、Hiの各値を設定し、►■ボタンを押して決定する。

この設定により、VOL（ボリューム）＋/－ボタンを押すごとに、Low、Mid、Hiから音量を選択できます。

1階層上のメニューに戻るには

🗀/HOMEボタンを押します。

ご注意

- AVLS（☞29ページ）が設定されているときは設定した値よりも音量が低くなる場合があります。
  AVLSを解除（Off）すると設定した値の音量になります。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

マニュアルボリュームに戻すには（Manual）

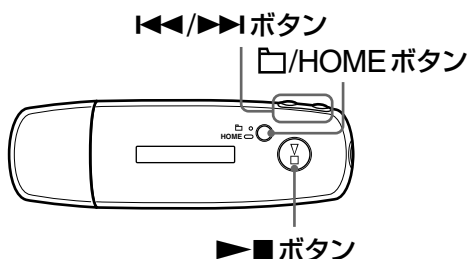
1. ホーム画面が表示されるまで 🗀/HOMEボタンを押し続ける。
2. ⏮/⏭ボタンを押して （MENU）を選び、►■ボタンを押して決定する。
3. ⏮/⏭ボタンを押して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
4. ⏮/⏭ボタンを押して「Sound>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
5. ⏮/⏭ボタンを押して「Volume Mode>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
6. ⏮/⏭ボタンを押して「Manual」を選び、►■ボタンを押して決定する。
   この設定により、VOL（ボリューム）＋/－ボタンを押すごとに、0から30の間で音量を調節できます。

1階層上のメニューに戻るには

🗀/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

音質を設定する（Equalizer）

音楽のジャンルなどに合わせて音質を設定できます。

1. ホーム画面が表示されるまで 🗀/HOMEボタンを押し続ける。
2. ⏮/⏭ボタンを押して（MENU）を選び、►■ボタンを押して決定する。
3. ⏮/⏭ボタンを押して「Equalizer>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
4. ⏮/⏭ボタンを押してお好みの音質設定を選び、►■ボタンを押して決定する。

1階層上のメニューに戻るには

🗀/HOMEボタンを押します。

音質設定項目一覧

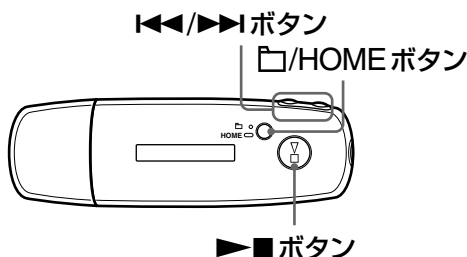
設定項目	説明
Off	音質設定は働きません。（お買い上げ時の設定）
Heavy	低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。
Pop	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
Jazz	低域と高域を強調したメリハリのある音質になります。
Custom	自分で設定した音質になります。設定方法は☞ 27ページをご覧ください。

ご注意

- 設定によって、音量を大きくしたときに音が歪む場合は、音量を下げてください。
- 「Custom」を選んだときと、それ以外の音質で音量が変わったように感じる場合は、音量を調節してください。

目次
メニュー
索引

お好みの音質を登録する（Preset Custom）

5つの音域を7段階で設定し、お好みの音質を登録することができます。登録した設定は「音質を設定する（Equalizer）」（☞26ページ）の「Custom」で選択できます。

1. **ホーム画面が表示されるまで🗀/HOMEボタンを押し続ける。**

2. **⏮/⏭ボタンを押して🧰（MENU）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

3. **⏮/⏭ボタンを押して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

4. **⏮/⏭ボタンを押して「Sound>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

5. **⏮/⏭ボタンを押して「Preset Custom>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**
   最も低い音域の上下に線が付いて表示されます。

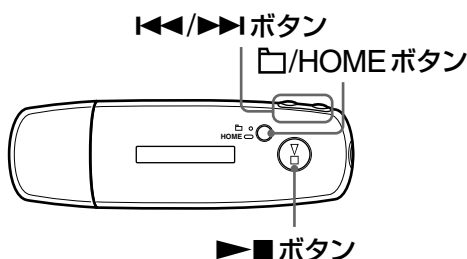
6. **⏮/⏭ボタンを押して各音域のレベルを設定し、►■ボタンを押して決定する。**
   音域は、低音域から高音域の順に設定していきます。

1階層上のメニューに戻るには

🗀/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

音量を補正する(Dynamic Normalizer)

曲どうしの音量レベルの差が少なくなるように設定できます。この設定により、録音レベルの異なる複数のアルバムの曲をシャッフル再生するときでも、曲によって音量が大きすぎたり、小さすぎたりといったことを避けることができます。

❶ **ホーム画面が表示されるまで🗀/HOMEボタンを押し続ける。**

❷ **⏮/⏭ボタンを押して🧰(MENU)を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❸ **⏮/⏭ボタンを押して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❹ **⏮/⏭ボタンを押して「Sound>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❺ **⏮/⏭ボタンを押して「D.Normalizer>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❻ **⏮/⏭ボタンを押して「On」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

設定を「OFF」にするには

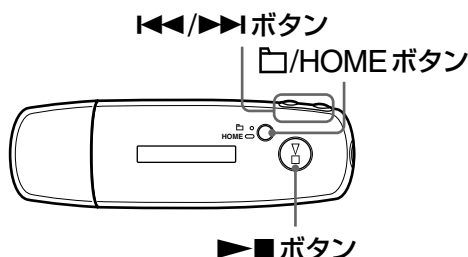
手順❻で「Off」を選びます。

1階層上のメニューに戻るには

🗀/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

音もれを抑える（音量リミット-AVLS）

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。

❶ **ホーム画面が表示されるまで 🗀/HOMEボタンを押し続ける。**

❷ **⏮/⏭ボタンを押して （MENU）を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❸ **⏮/⏭ボタンを押して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❹ **⏮/⏭ボタンを押して「Sound>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❺ **⏮/⏭ボタンを押して「AVLS>」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

❻ **⏮/⏭ボタンを押して「On」を選び、►■ボタンを押して決定する。**

この設定により、音量が一定のレベル以上、上がらなくなります。

設定を「OFF」にするには

手順❻で「Off」を選びます。

1階層上のメニューに戻るには

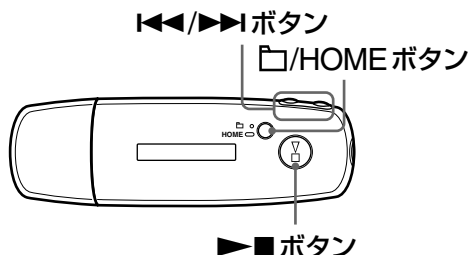
🗀/HOMEボタンを押します。

ヒント

- AVLSが「On」に設定されているときは、VOL（ボリューム）＋/－を押したときに「AVLS」と表示されます。

目次
メニュー
索引

ピッという確認音を鳴らさないようにする（Beep）

本体の確認音を消すことができます。

1. ホーム画面が表示されるまで 🗀/HOMEボタンを押し続ける。

2. ⏮/⏭ボタンを押して 🧰（MENU）を選び、►■ボタンを押して決定する。

3. ⏮/⏭ボタンを押して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

4. ⏮/⏭ボタンを押して「Sound>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

5. ⏮/⏭ボタンを押して「Beep>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

6. ⏮/⏭ボタンを押して「Off」を選び、►■ボタンを押して決定する。

確認音が鳴るようにするには

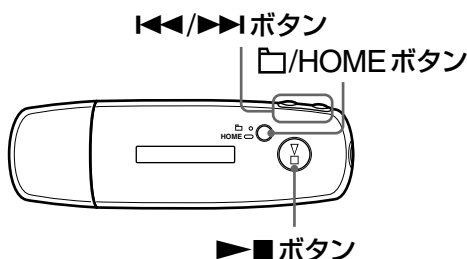
手順❻で「On」を選びます。

1階層上のメニューに戻るには

🗀/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

現在時刻を設定する（Set Date-Time）

現在の日時を設定し、時計を表示させせることができます。

1. ホーム画面が表示されるまで /HOMEボタンを押し続ける。

2. ⏮/⏭ボタンを押して（MENU）を選び、►■ボタンを押して決定する。

3. ⏮/⏭ボタンを押して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

4. ⏮/⏭ボタンを押して「Date-Time>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

5. ⏮/⏭ボタンを押して「Set Date-Time>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
   「年」の値の上下に線が付いて表示されます。

6. ⏮/⏭ボタンを押して「年」の数字を合わせ、►■ボタンを押して決定する。
   「月」の値の上下に線が付いて表示されます。

7. 手順6で「年」を入力したのと同様に「月」、「日」、「時」、「分」の数字を入力する。
   ⏮/⏭ボタンを押して現在の日時を合わせ、►■ボタンを押して決定します。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

1階層上のメニューに戻るには

□/HOMEボタンを押します。

時計を表示させるには

以下のどちらの方法でも現在時刻が表示されます。

- 「表示画面を切り換える（Display Mode）」（☞21ページ）で「Clock」を設定する。
- ホールド中に他のボタンを押す。

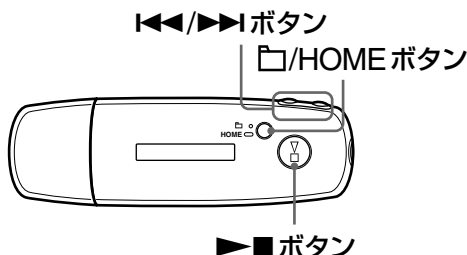
ヒント

- 日付の表示形式は「月/日」または「日/月」から選択できます。また、時刻の表示形式は「12時間表示」または「24時間表示」から選択できます。
  詳しくは「日付の表示形式を設定する（Date Disp Type）」（☞33ページ）、または「時刻の表示形式を設定する（Time Disp Type）」（☞34ページ）をご覧ください。

ご注意

- 本機を使用しないまま長期間放置すると、設定した日時がリセットされてしまいますのでご注意ください。
- 現在時刻が設定されていない場合、「Clock」（☞22ページ）を設定したときは、「--」が表示されます。

日付の表示形式を設定する（Date Disp Type）

現在時刻（☞31ページ）に表示される日付の表示形式を「月/日」または「日/月」から選べます。

1. ホーム画面が表示されるまで🗀/HOMEボタンを押し続ける。

2. ⏮/⏭ボタンを押して🧰（MENU）を選び、▶■ボタンを押して決定する。

3. ⏮/⏭ボタンを押して「Advanced Menu>」を選び、▶■ボタンを押して決定する。

4. ⏮/⏭ボタンを押して「Date-Time>」を選び、▶■ボタンを押して決定する。

5. ⏮/⏭ボタンを押して「Date Disp Type>」を選び、▶■ボタンを押して決定する。

6. ⏮/⏭ボタンを押してお好みの設定を選び、▶■ボタンを押して決定する。
   - mm/dd: 日付が「月/日」の形式で表示されます。（お買い上げ時の設定）
   - dd/mm: 日付が「日/月」の形式で表示されます。

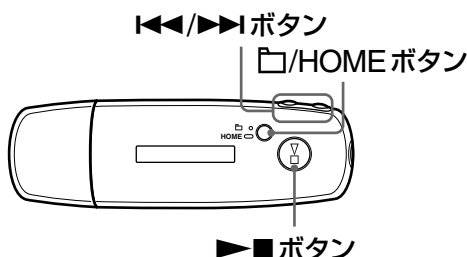
1階層上のメニューに戻るには

🗀/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

目次
メニュー
索引

時刻の表示形式を設定する（Time Disp Type）

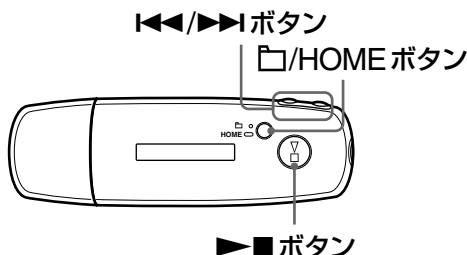
現在時刻（☞31ページ）の表示形式を「12時間表示」または「24時間表示」から選べます。お買い上げ時は、「24時間表示」に設定されています。

1. ホーム画面が表示されるまで🗀/HOMEボタンを押し続ける。
2. ⏮/⏭ボタンを押して🧰（MENU）を選び、►■ボタンを押して決定する。
3. ⏮/⏭ボタンを押して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
4. ⏮/⏭ボタンを押して「Date-Time>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
5. ⏮/⏭ボタンを押して「Time Disp Type>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
6. ⏮/⏭ボタンを押して「12h」または「24h」を選び、►■ボタンを押して決定する。

1階層上のメニューに戻るには

🗀/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

本機の情報を表示する（Information）

本機の機種名やメモリー容量、シリアルナンバー、ファームウェアのバージョンを表示することができます。

1 ホーム画面が表示されるまで 🗀/HOMEボタンを押し続ける。

2 ⏮/⏭ボタンを押して （MENU）を選び、▶■ボタンを押して決定する。

3 ⏮/⏭ボタンを押して「Advanced Menu>」を選び、▶■ボタンを押して決定する。

4 ⏮/⏭ボタンを押して「Information>」を選び、▶■ボタンを押して決定する。

⏮/⏭ボタンを押すごとに以下の情報が表示されます。

1：機種名
2：メモリー容量
3：シリアルナンバー
4：ファームウェアのバージョン

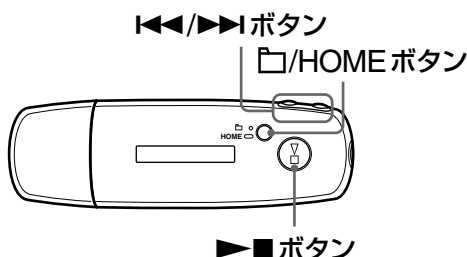
5 画面が変わるまで 🗀/HOMEボタンを押し続ける。

1階層上のメニューに戻るには

🗀/HOMEボタンを押します。

目次
メニュー
索引

お買い上げ時の設定に戻す（Reset All Setting）

MENU（メニュー画面）で設定した内容をお買い上げ時の状態に戻せます。お買い上げ時の状態に戻しても、保存しているデータは削除されません。

ご注意

- この操作は、再生停止中にのみ実行できます。

1 再生停止中に、ホーム画面が表示されるまで 🗀/HOMEボタンを押し続ける。

2 ⏮/⏭ボタンを押して 🧰（MENU）を選び、►■ボタンを押して決定する。

3 ⏮/⏭ボタンを押して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

4 ⏮/⏭ボタンを押して「Initialize>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

5 ⏮/⏭ボタンを押して「Reset All Setting>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

6 ⏮/⏭ボタンを押して「Ok」を選び、►■ボタンを押して決定する。

お買い上げ時の状態に戻ると、「COMPLETE」と表示されます。

次のページにつづく ⇩

1階層上のメニューに戻るには

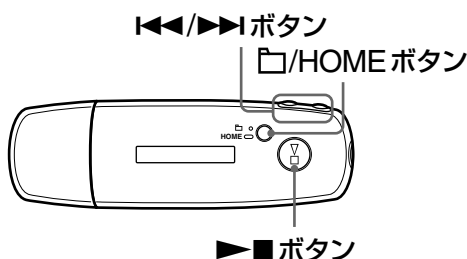
🗀/HOMEボタンを押します。

お買い上げ時の設定に戻すのをやめるには

手順❻で「Cancel」を選び、►■ボタンを押します。

目次
メニュー
索引

メモリーを初期化する（Format）

本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）することができます。
初期化すると、音楽データやほかの保存されているデータもすべて消去されます。初期化する前に内容を確認してください。

ご注意

- この操作は、再生停止中にのみ実行できます。

1 再生停止中に、ホーム画面が表示されるまで🗀/HOMEボタンを押し続ける。

2 ⏮/⏭ボタンを押して（MENU）を選び、►■ボタンを押して決定する。

3 ⏮/⏭ボタンを押して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

4 ⏮/⏭ボタンを押して「Initialize>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

5 ⏮/⏭ボタンを押して「Format>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

6 ⏮/⏭ボタンを押して「Ok」を選び、►■ボタンを押して決定する。

「FORMATTING...」が表示され、初期化が始まります。
初期化が終了すると「COMPLETE」と表示されます。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

1階層上のメニューに戻るには

🗀/HOMEボタンを押します。

初期化（フォーマット）するのをやめるには

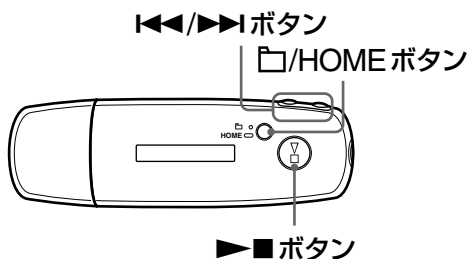
手順❻で「Cancel」を選び、►■ボタンを押します。

ご注意

- 本機の内蔵フラッシュメモリーは、パソコンでは初期化（フォーマット）しないでください。

目次
メニュー
索引

USB接続方法を変える（USB Power）

お使いのパソコンの使用状況によっては、パソコンからの電力供給（USB Bus Powered）が不充分になり、パソコンから本機への曲の転送が正常に行われないなどの現象が発生することがあります。USB接続方法（USB Power）を「100mA」に設定すると、このような現象が改善する場合があります。お買い上げ時は、「500mA」に設定されています。

ご注意

- USB接続中は設定できません。

1. ホーム画面が表示されるまで🗀/HOMEボタンを押し続ける。
2. ⏮/⏭ボタンを押して 🧰（MENU）を選び、►■ボタンを押して決定する。
3. ⏮/⏭ボタンを押して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
4. ⏮/⏭ボタンを押して「USB Power>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
5. ⏮/⏭ボタンを押して「100mA」または「500mA」を選び、►■ボタンを押して決定する。

1階層上のメニューに戻るには

🗀/HOMEボタンを押します。

次のページにつづく ⇩

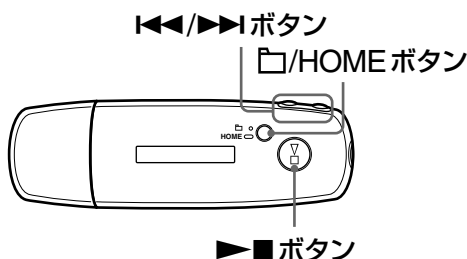
目次
メニュー
索引

ヒント

- 本機とノートパソコンを接続するときは、ノートパソコンを電源につなぐことをおすすめします。
- USB接続方法（USB Power）を「100mA」に設定していると、充電時間が長くなります。

目次
メニュー
索引

画面の表示方向を設定する（Rotation）

本機の画面の表示方向を切り換えます。

1. ホーム画面が表示されるまで 🗀/HOMEボタンを押し続ける。

2. ⏮/⏭ボタンを押して 💼（MENU）を選び、►■ボタンを押して決定する。

3. ⏮/⏭ボタンを押して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

4. ⏮/⏭ボタンを押して「Rotation>」を選び、►■ボタンを押して決定する。

5. ⏮/⏭ボタンを押して「R Hand」または「L Hand」を選び、►■ボタンを押して決定する。
   R Hand：画面を左側、各ボタンを右側にしてお使いになる場合の設定です。（お買い上げ時の設定）
   L Hand：画面を右側、各ボタンを左側にしてお使いになる場合の設定です。

1階層上のメニューに戻るには

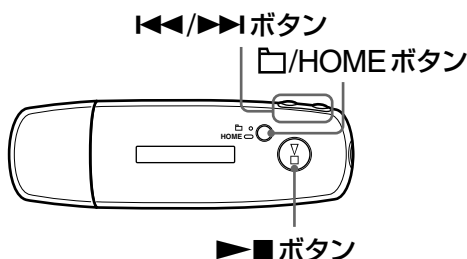
🗀/HOMEボタンを押します。

ヒント

- 画面の表示方向の設定を変更すると、⏮/⏭ボタンの機能も切り換わります。

目次
メニュー
索引

省電力画面に設定する（Power Save）

一定時間（約15秒）操作がないときに、省電力画面に切り換えます。

1. ホーム画面が表示されるまで🗀/HOMEボタンを押し続ける。
2. ⏮/⏭ボタンを押して（MENU）を選び、►■ボタンを押して決定する。
3. ⏮/⏭ボタンを押して「Advanced Menu>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
4. ⏮/⏭ボタンを押して「Power Save>」を選び、►■ボタンを押して決定する。
5. ⏮/⏭ボタンを押して省電力設定（☞44ページ）を選び、►■ボタンを押して決定する。

1階層上のメニューに戻るには

🗀/HOMEボタンを押します。

次のページにつづく ⇩

省電力設定一覧

設定項目	説明
On-Normal	省電力画面が表示されます。（お買い上げ時の設定）
On-Super	画面には何も表示されません。電池の消耗を最も抑えることができます。
Off	常に画面が表示されます。

本機の充電について

本機はパソコンと接続することによって、充電されます

電池残量表示が FULL になったら、充電完了です（充電時間：約60分*）。はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、なるべく電池残量表示が FULL になるまで連続して充電することをお勧めします。

* USB接続方法（☞40ページ）が「500mA」に設定してあり、室温で電池残量がない状態から電池を充電したときのめやすです。電池の残量や電池の状態などにより、上記の充電時間は異なる場合があります。また、充電時の温度が低い場合や音楽データを本機に転送中なども充電時間は長くなります。

電池残量の表示について

ご使用中、表示窓（☞10ページ）の電池残量表示でお知らせします。電池の持続時間（連続再生時）については、71ページをご覧ください。

目盛りが少なくなるほど、電池残量が減っています。また「LOW BATTERY」と表示された場合は、再生できません。本機をパソコンに接続して充電を行ってください。

ご注意

- 充電は周囲の温度が5 ～ 35℃の環境で行ってください。
- 本機とパソコン間でのデータ転送中は、「DATA ACCESS」と本機の表示窓に表示されます。「DATA ACCESS」と表示されている間は、本機をパソコンから抜かないでください。転送中のデータが破壊されることがあります。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコンに接続しているときは、本体の操作はできません。

電池を長持ちさせたいときは

本機の設定変更や、電源管理を適切に行うことで、電池の使用量を節約し、長時間使用できます。
ここでは、電池を長持ちさせるヒントをご紹介します。

画面表示を消す

一定時間（約15秒）操作がないときに画面表示を消す設定にすると、電池の消耗を抑えられます。
設定方法は、「省電力画面に設定する（Power Save）」（☞43ページ）をご覧ください。

音楽ファイル形式やビットレートを変える

曲のフォーマットやビットレートによっても、電池の使用可能時間（連続再生時）*が変わります。
ATRAC 48kbpsは約27時間、WMA 128kbpsは約19時間再生できます。なお、使用状況によって時間は変わります。

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

ご注意

- 電源コードを接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンのバッテリーが消耗します。電源コードを接続していないノートパソコンと本機を接続したまま長時間放置しないでください。

目次
メニュー
索引

音楽ファイル形式とビットレートとは？

音楽ファイル形式とは

インターネットや音楽CDから曲をSonicStageへ取り込み、保存するときの形式を音楽ファイル形式といいます。
音楽ファイル形式には、MP3やWMA、ATRACなどがあります。

MP3：MPEG（エムペグ）-1 Audio（オーディオ） Layer（レイヤー）3の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めたオーディオ圧縮の規格です。
音声データをCDの約10分の1に圧縮できます。

WMA：Windows（ウィンドウズ） Media（メディア） Audio（オーディオ）の略で、Microsoft社が開発したオーディオ圧縮形式です。MP3より小さいファイルサイズで、同等の音質が楽しめます。

ATRAC：ATRAC（Adaptive（アダプティブ） Transform（トランスフォーム） Acoustic（アコースティック） Coding（コーディング））は、ATRAC3およびATRAC3Plusの総称で、高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術です。ATRAC3では、音声データをCDの約10分の1に圧縮でき、ATRAC3plusでは、約20分の1に圧縮できます。

AAC：Advanced（アドバンスト） Audio（オーディオ） Coding（コーディング）の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めたオーディオ圧縮の規格です。MP3より小さいファイルサイズで、同等の音質が楽しめます。

ビットレートとは

単位時間あたりにやりとりされる情報量のことで、64 kbps（bits per second）のように表します。数値が大きいほど情報量は多くなり、音質は向上しますが、変換後の音楽ファイルサイズも大きくなります。

音楽ファイルサイズと音質、ビットレートの関係

ビットレートを上げれば、転送できる曲数が少なくなりますが、高音質な音楽ファイルを本機に転送して楽しめます。
ビットレートを下げれば、転送できる曲数は多くなりますが、音質が低下します。
本機で再生できる音楽ファイル形式とビットレートについて詳しくは、☞70ページをご覧ください。

ご注意

- パソコンに取り込んだときのビットレートより高いビットレートで本機に転送しても、取り込んだときのビットレート以上の音質で再生できません。

目次
メニュー
索引

曲間を空けずに再生したいときは

曲をATRAC形式でSonicStageに取り込んで本機に転送すれば、曲間を空けずに再生できます。
コンサートやライブなど曲間を空けずに収録されたアルバムは、曲をATRAC形式でSonicStageに取り込み本機に転送すれば、本機で最後まで途切れることなく再生できます。

ご注意

- 本機で曲間を空けずに再生するには、曲間を空けずに収録された1つのアルバム内の曲を、同じビットレートのATRAC形式で取り込む必要があります。

曲情報はどうやって取り込まれるの？

SonicStageを使えば、CDを挿入しただけでアルバム名やアーティスト名、曲名などの曲情報を自動で取得できます。これは、CDの曲数や時間などの情報を元に、曲情報を曲情報のデータサービス：CDDB（Gracenote CD DataBase）から、インターネット経由で自動的に無償で取得しているためです。
このとき取得した曲情報は本機に転送され、さまざまな検索が可能になります。

ご注意

- CDによっては曲情報を取得できないことがあります。曲情報を取得できない場合は、SonicStageで曲情報を入力してください。曲情報の編集について詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。

目次
メニュー
索引

音楽以外のデータを保存する

Windowsのエクスプローラを使って、パソコンのハードディスク内のデータを本機の内蔵フラッシュメモリーに転送できます。
本機をパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラ上にリムーバブルディスクとして、本機の内蔵フラッシュメモリーが表示されます。

ご注意

- Windowsのエクスプローラを使って本機の内蔵フラッシュメモリーを操作している間、SonicStageは使わないでください。
- エクスプローラを使って、MP3などのファイルを転送しても本機では再生できません。SonicStageを使って、転送してください。
- データへのアクセス中は、パソコンから本機を抜かないでください。データを転送中にパソコンから本機を抜くと、転送中のデータが壊れることがあります。
- パソコンで本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）しないでください。本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）するときは、必ず本機のFormatメニュー（☞38ページ）で行ってください。

目次
メニュー
索引

ファームウェアをアップデートする

本機は、最新のファームウェアをインストールすることで、新しい機能の追加などを行うことができます。最新のファームウェアおよび更新の方法について詳しくは、「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページでご案内しておりますのでご確認ください。
http://www.sony.co.jp/support-pa/

1. **「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページから、「デジタルプレイヤー・ソフトウェア更新ツール」をダウンロードする。**

2. **本機をパソコンに接続し、「デジタルプレイヤー・ソフトウェア更新ツール」を起動する。**

3. **「デジタルプレイヤー・ソフトウェア更新ツール」のメッセージに従ってアップデートを行う。**

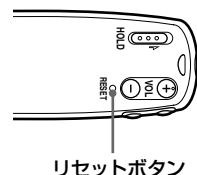
4. **完了のメッセージが表示されたら、[終了]をクリックする。**
   「デジタルプレイヤー・ソフトウェア更新ツール」が終了します。
   これでファームウェアのアップデートは完了です。

目次
メニュー
索引

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前に、以下の手順に従ってください。

1 クリップなどの細い棒で、本体裏面のリセットボタンを押す。

リセットボタンを押しても、本機に保存しているデータや設定は消去されません。

2「故障かな？と思ったら」の各項目で調べる。

3 SonicStageを使用しているときは、SonicStageのヘルプで調べる。

4「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページで調べる。
http://www.sony.co.jp/support-pa/

5 手順1～4を確認しても問題が解決しないときは、お客様ご相談センター（☞75ページ）またはお買い上げ店に相談する。

本体の操作

症状	原因/処置
再生音が出ない 雑音が入る	• 音量がゼロになっている → 音量を上げてください（☞9ページ）。 • ヘッドホンがしっかり差し込まれていない → ヘッドホンジャックにしっかり差し込んでください（☞8ページ）。 • ヘッドホンのプラグが汚れている → 乾いた布でプラグの汚れをふきとってください。 • 曲が入っていない →「NO DATA」と表示されているときは、パソコンから音楽データを転送してください。
ボタン操作に 反応しない	• HOLDスイッチがHOLDの位置になっている → HOLDスイッチを逆の位置（通常モード）にスライドしてください（☞9ページ）。 • 結露している → そのまま約2、3時間おいてください。 • 電池の残量が少ない → 充電してください（☞45ページ）。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

本体の操作（つづき）

症状	原因/処置
転送した曲が見つからない	• Windowsのエクスプローラで、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）した → 本機のFormatメニューで、内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください（☞38ページ）。 • 転送中、パソコンから本機が抜けた → 使用可能なファイルをパソコンに戻し、本機のFormatメニューで、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください（☞38ページ）。
再生音が大きくならない	• AVLSが設定されている → AVLS設定を解除してください（☞29ページ）。
右チャンネルから音が出ない	• ヘッドホンが正しく差し込まれていない → ヘッドホンプラグをカチッと音がするまで差し込んでください（☞8ページ）。
再生していたら急に音が止まった	• 電池が消耗している → 充電してください（☞45ページ）。

表示窓

症状	原因/処置
画面に「□」と表示される	• 本機で表示できない文字が使用されている → 付属のSonicStageソフトウェアを使って本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

充電

症状	原因/処置
電池の持続時間が短い	• 5℃以下の環境で使用している ➔ 電池の特性によるもので故障ではありません。 • 充電式電池の交換が必要 ➔ ソニーサービス窓口にお問い合わせください。 • 充電時間が足りない ➔ 本機のUSB接続方法(USB Power)が「100mA」になっている場合は、長めに充電してください(☞40ページ)。

パソコンとの接続/SonicStage

症状	原因/処置
インストールできない	• 対応のOS以外のOSを使っている ➔ パソコンの動作環境を確認してください(☞72ページ)。 • すべてのWindowsのソフトウェアを終了していない ➔ ほかのソフトウェアが起動した状態でインストールを行うと、不具合が生じることがあります。特にウィルスチェックソフトウェアは負担が大きいため、必ず終了してください。 • ハードディスクの空き容量が足りない ➔ ハードディスクの空き容量は200MB以上必要なため、不要なファイルなどを削除してください。 • Administrator権限またはコンピュータの管理者以外でログオンしている ➔ Administrator権限またはコンピュータの管理者でログオンしていない場合、インストールできないことがあります。Administrator権限またはコンピュータの管理者でログオンしてください。
画面上のバーが動いていない。または、ハードディスクのアクセスランプが数分間点灯していない	• インストール作業は正常に行われているため、そのままお待ちください。お使いのパソコンによっては、インストール終了まで30分以上かかる場合があります。
SonicStageが起動しない	• WindowsのOSをバージョンアップするなど、パソコン環境を変更すると、起動しない場合があります。「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」(http://www.sony.co.jp/support-pa/)のホームページで調べてください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

パソコンとの接続/SonicStage（つづき）

症状	原因/処置
本機をパソコンにつないでも、本機の表示窓に「USB CONNECT」と表示されない	• USB端子がきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない ➔ 本機をいったん抜いて、接続し直してください。 • USBハブを使用している ➔ USBハブを使用していると、表示されない場合があります。パソコンのUSBコネクタに直接接続してください。 • SonicStageの認証を行うために、時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。 • パソコン上でほかのソフトウェアが起動している ➔ しばらくしてから、本機を接続し直してください。それでも解決しない場合は、本機を抜いてからパソコンを再起動してください。 • 本機のUSB接続方法（USB Power）が「500mA」になっている ➔ USB接続方法（USB Power）を「100mA」にしてください（☞40ページ）。 • ソフトウェアのインストールに失敗している ➔ 本機内蔵のインストーラーを使ってもう一度ソフトウェアをインストールしてください（☞「クイックスタートガイド」）。取り込んだ音楽データは引き継がれます。
本機がパソコンに認識されない	• USB端子がきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない ➔ 本機をいったん抜いて、接続し直してください。 • USBハブを使用している ➔ USBハブを使用していると、認識されない場合があります。パソコンのUSBコネクタに直接接続してください。

次のページにつづく ⇩

パソコンとの接続/SonicStage（つづき）

症状	原因／処置
転送できない	• USB端子がきちんとパソコンのUSBコネクタに接続されていない → 本機をいったん抜いて、接続し直してください。 • 本機の空き容量が不足している → 聞かなくなった曲を削除して、空き容量を増やしてください。 • 本機に転送できる曲数は、65,535曲、転送できるプレイリストは、8,192です。それを超える曲数またはプレイリストは転送できません。また、1プレイリストにつき999曲を超える曲数は転送できません。 • 再生期間や再生回数などの再生制限のついた曲は、著作権者の意向により本機に転送できない場合があります。それぞれの曲に関する設定内容については、配信者にお問い合わせください。
転送できる曲数が少ない（録音できる時間が短い）	• 本機の空き容量が不足している → 聞かなくなった曲を削除して、空き容量を増やしてください。 • 本機に音楽以外のデータが入っている → 本機に音楽以外のデータが入っていると、転送できる曲数が減ります。音楽以外のデータをパソコンに移動するなどして、本機の空き容量を増やしてください。
パソコンに戻せない	• 転送したパソコンと異なるパソコンに曲を戻そうとしている → 転送したパソコンと異なるパソコンには曲を戻せません。曲を転送したパソコンへ曲を戻してください。 • 転送元のパソコンで曲を削除した → 転送元のパソコンで曲を削除すると、曲を戻せません。
パソコン接続中の動作が安定しない	• USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用している → USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用すると、動作が安定しないことがあります。直接パソコンと接続してください。

その他

症状	原因／処置
操作時の確認音が鳴らない	• Beepの設定が「Off」になっている → メニューで「Beep」の設定を「On」にしてください（☞30ページ）。
本体が温かくなる	• 充電中に本体が一時的に温かくなることがあります。

目次
メニュー
索引

メッセージ一覧

本体表示窓にエラー表示が出たら、下の表に従ってチェックしてみてください。

表示	意味	処置
ACCESS	パソコンから本機を抜いたあとや、本機をリセット(☞52ページ)したあとに表示されます。	エラーではありません。表示が消えるまでお待ちください。
AVLS(点滅)	AVLS設定時に、音量が規定値を超えている。	音量を下げるか、またはAVLS設定を解除してください(☞29ページ)。
CANNOT PLAY	• 本機では再生できないファイル形式である。 • 転送の途中で転送を強制中断した。	再生できない音楽データがあり、その音楽データが不必要な場合は、内蔵フラッシュメモリーから削除することができます。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」(☞60ページ)をご覧ください。
CHARGE ERROR	パソコンからの電力供給が異常である。	使用するパソコンを変えてお試しください。
DATA ACCESS	内蔵フラッシュメモリーにアクセス中。	アクセスが終わるまでお待ちください。内蔵フラッシュメモリーにアクセスしているときに表示されます。
DRM ERROR	著作権に対して不正なファイルを検出した。	必要なデータをパソコンに戻してから、本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化(フォーマット)してください。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」(☞60ページ)をご覧ください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示	意味	処置
EXPIRED	期限付きの音楽データを再生しようとしている。	再生できない音楽データがあり、その音楽データが不必要な場合は、内蔵フラッシュメモリーから削除することができます。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞60ページ）をご覧ください。
FILE ERROR	• データを読み込めない。 • データが異常である。	「FILE ERROR」となった曲を削除してください。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞60ページ）をご覧ください。
FORMAT ERROR	パソコンなどを使って、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）した。	本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞60ページ）をご覧ください。
HOLD	HOLDスイッチが「HOLD」の位置になっているため、本機の操作ができない。	本機の操作を行う場合は、HOLDスイッチを逆の位置（通常モード）にスライドしてください（☞9ページ）。
LOW BATTERY	電池が消耗している。	充電してください（☞45ページ）。
MEMORY ERROR	内蔵フラッシュメモリーが壊れている。	必要なデータをパソコンに戻してから、本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください。詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞60ページ）をご覧ください。それでも表示されるときは、ソニーサービス窓口にお問い合わせください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

表示	意味	処置
NO DATA	内蔵フラッシュメモリーに音楽データが入っていない。	音楽データが入っていない場合は、付属のSonicStageソフトウェアを使って音楽データを転送してください。
NO DATABASE	音楽データの転送中に、本機とパソコンの接続が切れてしまった。	必要なデータをパソコンに戻してから、本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（☞60ページ）をご覧ください。
NO ITEM	選択した項目の音楽データがない。	付属のSonicStageソフトウェアを使って、音楽データを転送してください。
SYSTEM ERROR	ハードウェアが壊れています。	ソニーサービス窓口にお問い合わせください。
UPDATE ERROR	ファームウェアのアップデートに失敗したときに表示されます。	パソコンに表示される案内にしたがってやり直してください。
USB CONNECT	本機がパソコンと接続されている。	エラーではありません。 SonicStageを使って曲を転送したり、戻したりできます。ただし、本機を操作することはできません。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには

「CANNOT PLAY」、「DRM ERROR」、「EXPIRED」、「FILE ERROR」、「FORMAT ERROR」、「MEMORY ERROR」、「NO DATABASE」が表示された時は、内蔵フラッシュメモリーの一部またはすべてのデータに異常があります。
その場合は、以下の方法で再生できないデータを削除してください。

1. 本機をパソコンに接続し、SonicStageを起動させる。
2. データの異常の原因がはっきり分かっている場合は、SonicStageで削除する。
3. それでも解決しない場合は、パソコンに接続した状態で、SonicStageを使い、パソコンに戻すことの可能な曲はすべてパソコンに戻す。
4. パソコンからはずして、本機のFormatメニューの操作で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）する（☞38ページ）。

目次
メニュー
索引

SonicStageをアンインストールする

インストールした付属のソフトウェアをパソコンから削除したいときは、以下の手順に従ってください。

1 「スタート」メニューから「コントロールパネル」[1]をクリックする。

2 「プログラムの追加と削除」[2]をダブルクリックする。

3 一覧から「SonicStage X.X」を選び、「削除」[3]をクリックする。

メッセージに従ってパソコンを再起動します。
再起動が完了すると、アンインストールは終了です。

1) Windows 2000 Professional/Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Editionでは「設定」→「コントロールパネル」
2) Windows 2000 Professional/Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Editionでは「アプリケーションの追加と削除」
3) Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Editionでは「追加と削除」

ご注意

- SonicStage をインストールすると、「OpenMG Secure Module」もインストールされます。「OpenMG Secure Module」は、他のソフトウェアでも使用していることがありますので削除しないでください。

目次
メニュー
索引

使用上のご注意

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

充電について

- 充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。
- 充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、電池が劣化していると思われます。ソニーサービス窓口へお問い合わせください。

置き場所について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く
- 窓を閉めきった自動車内(とくに夏季)
- 風呂場など、湿気が多いところ
- ほこりが多いところ
- 磁石、スピーカーボックス、テレビなど、磁気を帯びたものの近く

ヘッドホンについて

付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターに相談してください。

ご使用について

- ストラップをつけてご使用する場合は、ストラップが引っかかると危険ですので、ご注意ください。
- 飛行機などに乗るときは、ご使用にならないでください。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

付属のソフトウェアについて

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。
- 本機に付属のソフトウェア上で表示できる言語は、パソコンにインストールされているOSによって異なります。お使いのパソコンのOSが、表示したい言語に対応しているかどうかをご確認ください。
  - 言語によっては、このソフトウェア上で正しく表示できない場合があります。
  - ユーザー定義の文字や特殊な記号は表示されない場合があります。

試聴用楽曲について

本製品は、店頭でお客様に実際に手にとってご試聴・ご体験頂くことを目的として、あらかじめ試聴用楽曲データをプリインストールしております。楽曲を削除される場合は、SonicStage上で行って頂きますようお願いいたします。

次のページにつづく ⇩

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合、および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。
- 以下の理由により、一部の文字や記号が本機上で正しく表示されない場合があります。
  – パソコンに接続しているポータブルプレーヤーの性能。
  – パソコンに接続しているポータブルプレーヤーが正常に動作していない。
  – 曲のID3タグ情報が、ポータブルプレーヤーでサポートされていない言語や記号で書かれている。

目次
メニュー
索引

本機を廃棄するときのご注意

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「お客様ご相談センター」にご相談ください。（「お客様ご相談センター」の連絡先は最終ページに記載されています。）

目次
メニュー
索引

お手入れ

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で拭いた後、乾ぶきします。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液をしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。内部に水が入らないようにご注意ください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布で乾拭きしてください。

目次
メニュー
索引

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この操作ガイドをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルミュージックプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

目次
メニュー
索引

商標について

- SonicStageおよびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- OpenMG、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plusおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。
- “ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN” ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- Microsoft およびWindows、Windows NT、Windows Media は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 本機はドルビー・ラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- MacintoshはApple Computer, Inc.の商標です。
- PentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2004 Gracenote.
  Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2004 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Services supplied and/or device manufactured under license for following Open Globe,Inc. United States Patent 6,304,523. Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote.
  The Gracenote logo and logotype, and the “Powered by Gracenote” logo are trademarks of Gracenote.
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

目次
メニュー
索引

主な仕様

再生信号圧縮方式（再生できる音楽ファイル形式）

– MPEG-1 Audio Layer-3（MP3）
– Windows Media Audio（WMA）
– Adaptive Transform Acoustic Coding（ATRAC）
– AAC (Advanced Audio Coding)

記録できる最大曲数と時間の目安*

* 1曲4分のATRAC形式の曲を転送した場合で計算しています。他の再生できる音楽ファイル形式では、増減する可能性があります。

	NW-E002		NW-E003	
ビットレート	曲数	時間	曲数	時間
48 kbps	340曲	約22時間40分	685曲	約45時間40分
64 kbps	255曲	約17時間00分	515曲	約34時間20分
96 kbps	170曲	約11時間20分	345曲	約23時間00分
128 kbps	125曲	約 8時間20分	260曲	約17時間20分
132 kbps	120曲	約 8時間00分	250曲	約16時間40分
160 kbps	100曲	約 6時間40分	205曲	約13時間40分
192 kbps	85曲	約 5時間40分	170曲	約11時間20分
256 kbps	64曲	約 4時間10分	130曲	約 8時間40分
320 kbps	51曲	約 3時間20分	100曲	約 6時間40分
352 kbps	46曲	約 3時間00分	94曲	約 6時間10分

	NW-E005	
ビットレート	曲数	時間
48 kbps	1,350曲	約90時間00分
64 kbps	1,000曲	約66時間40分
96 kbps	690曲	約46時間00分
128 kbps	520曲	約34時間40分
132 kbps	500曲	約33時間20分
160 kbps	415曲	約27時間40分
192 kbps	345曲	約23時間00分
256 kbps	260曲	約17時間20分
320 kbps	205曲	約13時間40分
352 kbps	185曲	約12時間20分

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

容量（ユーザー使用可能領域）*

NW-E002: 512 MB（約 482 MB = 505,724,928 バイト）
NW-E003: 1 GB（約 968 MB = 1,015,726,080バイト）
NW-E005: 2 GB（約 1.89 GB = 2,035,974,144 バイト）

* 本機では、メモリーの一部をデータ管理領域として使用しているため、ユーザー使用可能領域は一般的な容量表示とは異なります。

対応ビットレート

MP3：32 ～ 320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応
WMA：32 ～ 192 kbps、可変ビットレート（VBR）対応
ATRAC：48 / 64 / 66（ATRAC3）* / 96 / 105（ATRAC3）* / 128 / 132（ATRAC3）/ 160 / 192 / 256 / 320 / 352 kbps

* SonicStageでは、ATRAC3 66/105 kbpsのCD録音はできません。

AAC：16 ～ 320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応*

* サンプリング周波数によっては、規格外および保証外の数値も含みます。

サンプリング周波数*

MP3：32、44.1、48 kHz
WMA：44.1 kHz
ATRAC：44.1 kHz
AAC：11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48 kHz

* すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

周波数特性*

20 ～ 20,000 Hz（再生時、単信号測定）

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の規格による測定値です。

インターフェース

ヘッドホン：ステレオミニ
Hi-speed USB（USB 2.0 準拠）

動作温度

5 ～ 35℃

電源

- 内蔵リチウムイオン充電式電池使用
- USB電源（本機のUSB端子を接続して、パソコンから供給）

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

電池持続時間*

ATRAC形式の場合：約28時間（132 kbps再生時）
ATRAC形式の場合：約25時間（128 kbps再生時）
ATRAC形式の場合：約27時間（48 kbps再生時）
MP3形式の場合：約27時間（128 kbps再生時）
WMA形式の場合：約19時間（128 kbps再生時）
AAC形式の場合：約27時間（128 kbps再生時）

* 省電力設定（☞43ページ）が「On-Super」、音質設定（Equalizer）（☞26ページ）が「Off」に設定してあるときのめやすです。周囲の温度や使用状況により、上記の持続時間は異なる場合があります。

最大外形寸法

24.8 × 79.0 × 13.6 mm
（幅／高さ／奥行き、最大突起部を含まず）

質量

約25 g（JEITA）*

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

次のページにつづく ⇩

目次
メニュー
索引

動作環境（本機およびSonicStage）

- パソコン
  以下のOSを標準インストールしたIBM PC/AT互換機専用です（日本語版標準インストールのみ）。
  - Windows 98 Second Edition
  - Windows Millennium Edition
  - Windows 2000 Professional（Service Pack 3以降）
  - Windows XP Home Edition
  - Windows XP Professional
  - Windows XP Media Center Edition 2004
  - Windows XP Media Center Edition 2005

  Windows 95、Windows 98 Gold Edition、Windows NT、Windows2000 のその他のバージョン（Serverなど）では動作保証いたしません。
- CPU
  Pentium III 450 MHz以上
- メモリ
  128 MB以上
- ハードディスクドライブ
  200 MB以上（1.5 GB以上を推奨）の空き容量が必要です。
  Windows のバージョンによってはそれ以上使用する場合があります。また、音楽データを扱うための空き容量がさらに必要です。
- ディスプレイの設定
  画面の解像度：800 x 600 ピクセル以上（1024 x 768 ピクセル以上を推奨）
  画面の色：High Color（16 ビット）以上（256 以下では正しく動作しない場合があります）
- CD-ROMドライブ
  WDMによるデジタル再生機能に対応しているドライブが必要です。さらに音楽CD/ATRAC CD/MP3 CDの作成を行うためには、CD-R/RWドライブが必要です。
- サウンドボード
- USBポート（Hi speed USB推奨）
- CDDBを利用する場合は、インターネットへの接続環境が必要です。
- インターネット音楽配信サービス（EMD）を利用する場合は、インターネットへの接続環境が必要です。また、Internet Explorer5.5以上がインストールされている必要があります。

以下のシステム環境での動作保証はいたしません。

- 上記のOS以外のOS
- 自作パソコン
- 標準インストールされているOS から他のOS へのアップグレード環境
- マルチブート環境
- マルチモニタ環境
- Macintosh

上記の環境を満たすすべてのPCでの動作を保障するものではありません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

索引

記号

あ行

か行

さ行

た行

は行

次のページにつづく

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ**
  (http://www.sony.co.jp/support-pa/)
  デジタルミュージックプレーヤーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ（下記電話・FAX番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは［ウォークマン］－［ウォークマンAシリーズ、およびEシリーズ］です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

    ◆ セット本体に関するご質問時：
    - 型名：NW-E002/E003/E005
    - 製造（シリアル）番号：本体裏面のラベルに記載
      メニュー画面の (MENU)－「Advanced Menu」－「Information」でも製造（シリアル）番号をご確認いただけます。
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆ 付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南 1-7-1	● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/　お客様ご相談センター ● ナビダイヤル 0570-00-3311（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます） ● 携帯電話・PHS　03-5448-3311（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください） ● FAX　0466-31-2595　受付時間：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00